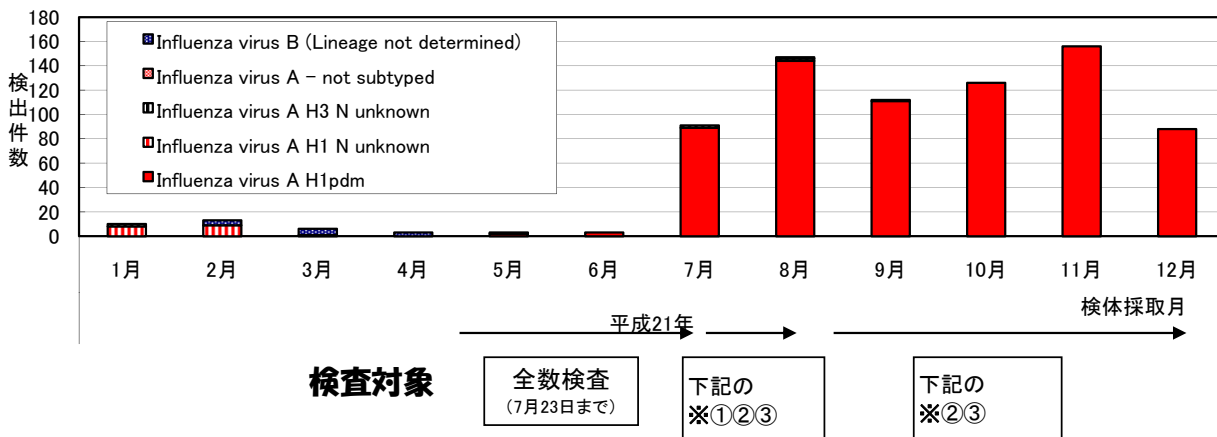


参考：インフルエンザウイルス検出状況及び検査対象（平成21年）

- ・5月16日 神戸市で海外渡航歴なしの高校生からInfluenza virus A H1pdm(新型)検出
- ・5月21日 本市初となるInfluenza virus A H1pdm(新型)検出

図1：検体採取月別 検出状況



※

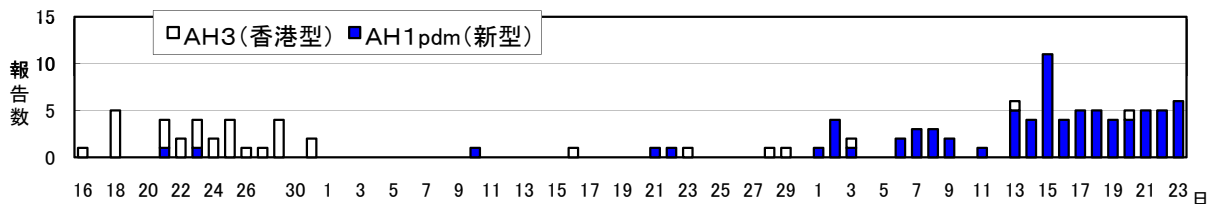
- ①2名以上の集団感染が疑われる患者の検体、
- ②入院患者の検体、
- ③病原体定点医療機関(市内は3ヶ所)の患者から定期的に採取された検体

現在は、②のうち、「死亡例又は重症化した入院患者の検体」、「③病原体定点医療機関から採取された検体」の検査を継続しています。

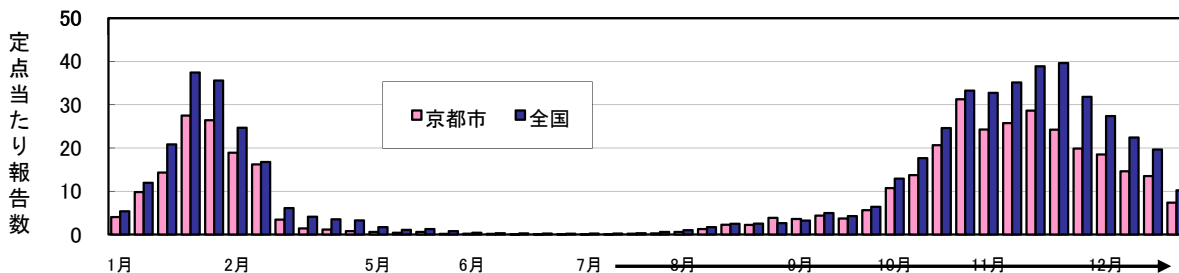
【インフルエンザウイルスの検査対象について】

- 5月 38℃以上の熱があり、メキシコ、カナダ、アメリカ等の蔓延国からの帰国者又は感染者の濃厚接触者についての検査を開始しました。
- 7月13日以降 原則簡易検査A型陽性の患者、インフルエンザが濃厚に疑われる患者について、全数検査となりました。
- 7月24日以降 上記の全数検査は廃止され、原則、「①2名以上の集団感染が疑われる患者の検体」、「②入院患者の検体」、「③病原体定点医療機関(市内は3ヶ所)の患者から定期的に採取された検体」の検査を行うこととなりました。
- 8月25日以降 ①の集団感染が疑われる患者のPCR検査が原則、不要となりました。
- 12月21日以降 ②の入院患者の検体については、死亡例又は重症化した患者のみに行うこととなりました。

(参考1) インフルエンザウイルス検出状況の詳細（5月16日から7月23日までの全数検査期間）



(参考2) インフルエンザ患者の推移(平成21年)



第30週(7月24日を含む週)以降、
新型インフルエンザ(A/H1N1)が追加

第30週(7月24日を含む週)以降、インフルエンザ患者の報告に、新型インフルエンザ(A/H1N1)が追加され、図1の結果から、現在流行しているインフルエンザは、新型インフルエンザウイルスによるものと考えられます。

流行開始の基準値である(定点当たり報告数1.0)を超えた週
流行発生注意報の基準値である(定点当たり報告数10.0)を超えた週
流行発生警報の基準値である(定点当たり報告数30.0)を超えた週

第33週(8月10日～8月16日)
第41週(10月5日～10月11日)
第44週(10月26日～11月1日)